

データの定義

分母: 下記のすべてを満たす症例

(1) DPCコード6桁が120010「卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍」

(2) 同一入院期間中下記のいずれかのみ一回だけ実施

試験開腹術K636

定義テーブルにない手術KKK1

子宮附属器悪性腫瘍手術(両側)K889

リンパ節群郭清術 後腹膜K6277

リンパ節群郭清術 骨盤K6278

大網切除術K641

骨盤内臓全摘術K645

直腸切除・切断術 低位前方切除術K7402

子宮全摘術K877

子宮附属器腫瘍摘出術(両側)

開腹によるものK8881

腹腔鏡によるものK8882

卵管全摘除術、卵管腫瘍全摘除術、子宮卵管留血腫手術(両側)

開腹によるものK888-21

腹腔鏡によるものK888-22

(3) 抗菌薬投与エピソードが手術日以前にはじまっていない

(4) (1)~(3)の症例のうち、投与日数が病院毎に平均+2SDを超えない症例

分子: 上記症例において、抗菌薬(注射薬・経口薬)が1回でも算定された日数の合計

対象データ期間: 2010年4月1日~2010年12月31日の退院症例

17) 周術期抗菌薬の平均投与日数 卵巣がん

女性生殖器手術は「準清潔手術」と考えられ、予防的抗菌薬投与は「術前1回投与(+術中数時間おき)」を推奨するCDCガイドライン、「4日以内を目安とする」との国内ガイドラインがあります。

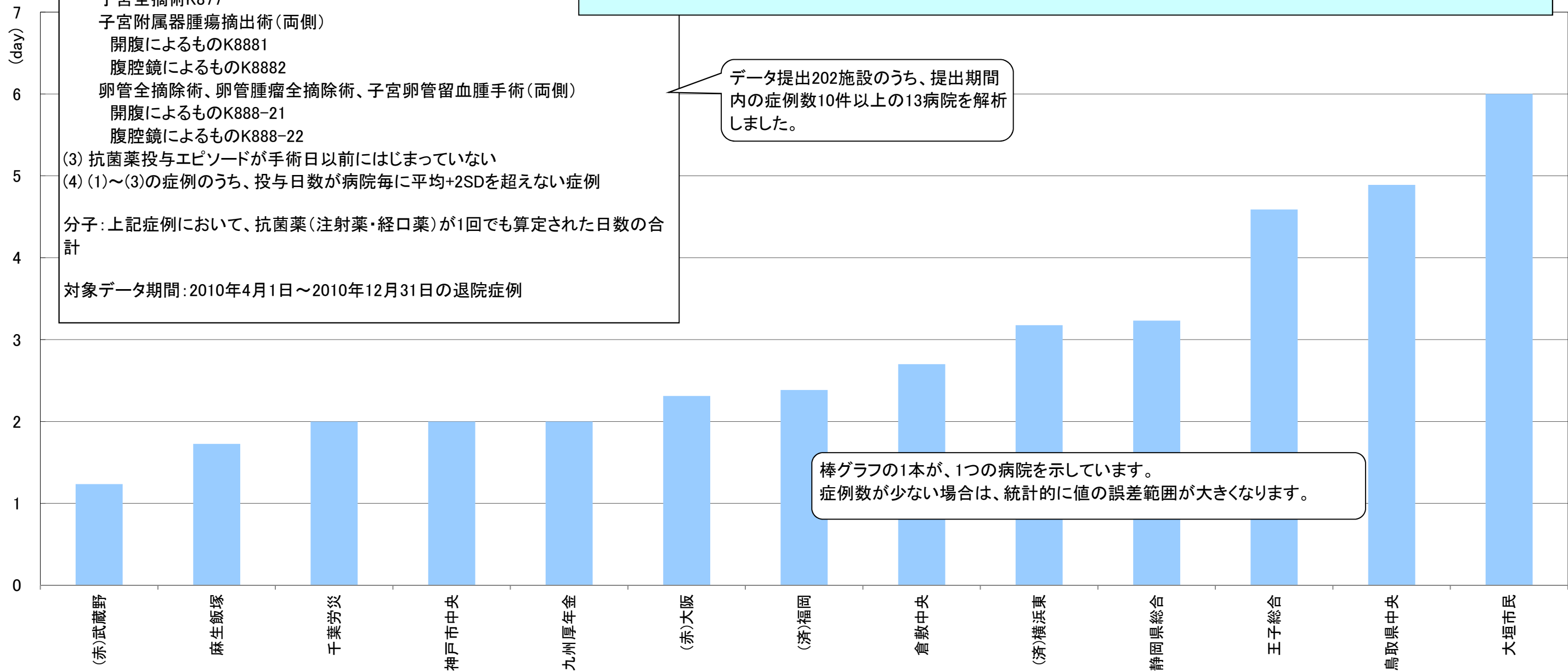
平均投与日数が5日間を超えている施設は、術後感染症の合併が多くないか、また標準的な投与日数が決められているか、など検討の余地があると思われます。

参考: 「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005)

CDC GUIDELINE FOR PREVENTION OF SURGICAL SITE INFECTION(1999)

データ提出202施設のうち、提出期間内の症例数10件以上の13病院を解析しました。

棒グラフの1本が、1つの病院を示しています。
症例数が少ない場合は、統計的に値の誤差範囲が大きくなります。



17) 周術期抗菌薬の平均投与日数 卵巣がん

(五十音順)

略称	病院名(五十音順)	投与症例数	投与日数	提出月数
(赤)武蔵野	日本赤十字社東京都支部 武蔵野赤十字病院	17	1.2	9
麻生飯塚	麻生飯塚病院	11	1.7	9
神戸市中央	神戸市立医療センター中央市民病院	12	2.0	9
千葉労災	独立行政法人労働者健康福祉機構 千葉労災病院	13	2.0	9
九州厚年金	財団法人厚生年金事業振興団 九州厚生年金病院	18	2.0	9
(赤)大阪	大阪赤十字病院	16	2.3	9
(済)福岡	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 福岡県済生会福岡総合病院	13	2.4	6
倉敷中央	財団法人 倉敷中央病院	10	2.7	4
(済)横浜東	社会福祉法人恩賜財団 済生会横浜市東部病院	17	3.2	8
静岡県総合	静岡県立総合病院	13	3.2	9
王子総合	医療法人 王子総合病院	17	4.6	9
鳥取県中央	鳥取県立中央病院	18	4.9	9
大垣市民	大垣市民病院	12	6.0	9